

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 5 月 20 日現在

機関番号：32702

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2012～2014

課題番号：24401018

研究課題名(和文)ヤオ族の儀礼知識と儀礼文献の保存・活用・継承

研究課題名(英文)Ritual Texts and Knowledge among the Yao: Their Preservation, Utilization and Transmission.

研究代表者

廣田 律子 (RITSUKO, Hitora)

神奈川大学・経営学部・教授

研究者番号：70260990

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,600,000円

研究成果の概要(和文)：中国湖南省藍山県を初め、タイやベトナムのヤオ族の伝承する儀礼の調査を実施し、儀礼の実践および儀礼で使用される文献(経典・漢字文書)の対応を明確に記録し、ヤオ族の儀礼知識の総体を立体的に把握する取り組みを行なった。その結果遠く離れる湖南とタイやベトナムのヤオ族が継承する儀礼知識が相当程度相同であることがわかってきた。

研究成果は順次ヤオ族文化研究所ウェブサイト上、出版物(『瑶族文化研究所通説』1～5号、『歴民調査報告』12・14・17集)等で公開を進め、国際シンポジウムを中国長沙で開催し、日本民俗学会第64回大会でグループ発表を行ない、複数の国際学会に招聘を受けるなど研究交流の成果をあげた。

研究成果の概要(英文)：Field trips were made to Yao communities in Thailand and Vietnam, as well as mainland China (Langshan, Hunan), in order to make precise records of their ritual practices and the ritual documents correlated to each phase of these practices. It has been revealed from our findings that the three groups of the Yao, now far apart from one another, share a transmitted system of ritual knowledge and still conduct parallel ritual practices in Southeast Asia and China. These findings have been made available on our website and through publications (Institute for the Study of Yao Culture News Letter, no.1-5; Kanagawa University Rekimin Research Report, vol. 12, 14, 17). Research members also conferred with other specialists on the issues of Yao ritual tradition at an international symposium at Changsha and a panel in the 64th Annual Meeting of the Folklore Society of Japan, and were invited to contribute their research results to international conferences.

研究分野：祭祀儀礼(東アジア)

キーワード：宗教学 民俗学 民族学 文化人類学 祭祀儀礼 儀礼文献 伝統文書 道教

1. 研究開始当初の背景

研究計画最終年度前年度応募を行なう「ヤオ族の儀礼と儀礼文献の総合的研究」(基盤研究(B)海外学術調査20401013)では中国湖南省藍山県に居住するヤオ族(ユーミン)に伝承される最大規模の通過儀礼の度戒儀礼全行程(15日間)にわたって読誦される経典(50冊)及び作成・使用される文書(数百件)の収集記録を行ない、同時に儀礼内容との対応関係を明確に記録した上分析を進め、研究成果を発表した。

研究を進める中でヤオ族の儀礼全体において度戒儀礼をどう位置付けるかという問題が浮上してきた。それ故、まず膨大なヤオ族の儀礼知識の総体を明らかにすることが不可欠となった。

2. 研究の目的

本研究ではヤオ族が日常行なっている儀礼(治病儀礼・葬送儀礼・婚姻儀礼・建築に関する儀礼・年中行事等)の実践と使用される儀礼文献(経典・文書)及び言説について明らかにすることを課題とする。

儀礼の実践及び儀礼で使用される文献の両面から、ヤオ族の儀礼知識の全容を把握し、儀礼間の関係、儀礼の構成要素の異同を明確にすることで度戒儀礼の体系的な位置付けを行ないたい。特に中規模の通過儀礼の還願儀礼との関係を明らかにする必要がある。度戒儀礼と他の儀礼の類型を重ね合わせることでその豊富な儀礼知識が日々行なわれる儀礼生活の中でどのように伝承されているかの詳細についても探求を進める。

さらにヤオ族の文献を収集している国内外の諸機関(バイエルン州立図書館・ボードリアン図書館・米国議会図書館・南山大学人類学博物館)で資料の閲覧収集を進め、複数の異本と対校することで藍山県の文献の個性と普遍性を明確にする。諸機関との連携関係を確立し、ヤオ族文化研究所をヤオ族の儀礼文献の保存・活用・継承に資する研究拠点とし、国際的な研究ネットワークの構築を図る。

南山大学収蔵の白鳥調査団が収集した文献を調査した結果、文献的儀礼知識が相当程度相同であることが確かめられたタイのヤオ族の儀礼調査を併せて行なうことで、儀礼的背景を確認する。ヤオ族の儀礼全体の地域間比較を行ない、儀礼における不易と変差の両側面を明らかにすることも課題である。

3. 研究の方法

本研究では、ヤオ族儀礼の総合的調査研究を行なった。儀礼では大量の儀礼文献が使用されるが、儀礼過程の復元及び儀礼内容の分析と合わせ文献の解読分析、翻訳作業が必要となる。収集資料及び分析研究成果はすべてデータベースとして公開する予定であるので(<http://www.yaoken.org/>)、文献及び画像資料のデータ化も進めた。また、ヤオ族の儀

礼文献を収蔵する他機関において閲覧を行ない、比較分析の材料とするばかりでなく、国際的な研究ネットワークの構築を図った。中国以外のタイやベトナムに居住するヤオ族の調査を行ない、儀礼内容や文献資料に関して比較研究も行なった。国際シンポジウムを調査地(湖南省長沙市)で開催することで、ヤオ族の伝承する極めて豊かな儀礼知識が人類文化遺産でもあることを地元の方々に認知を広げ、今後の活用及び保存継承に寄することに繋がった。

4. 研究成果

中国湖南省藍山県に居住するミン・ヤオ族に伝承される通過儀礼で読誦される経典及び作成・使用される文書の写真撮影を行ない、儀礼内容との対応関係を明確に記録した上分析を進め、研究成果を発表した。これまで神奈川大学プロジェクト研究所ヤオ族文化研究所を拠点とする儀礼調査で収集した資料(文献及び映像資料)と研究成果について順次ウェブサイト上、出版物(『瑶族文化研究所通説』第1~5号、『歴民調査報告』第12・14・17集、新文豊出版公司『道教儀式叢書』から2冊刊行予定)等で公開を進め、国際シンポジウムを2009・2012年(中国長沙)2010年(神奈川、東京)で開催し、さらに国際学会「地方道教儀礼実地調査比較研究」2011年(香港大学)「第一回東亜宗教文化国際学術研討会 東亜宗教的伝統性で現代性」2014年(華東師範大学)にも招聘を受けるなど研究交流の成果をあげてきた。

成果1 儀礼に関しては、藍山県のミン・ヤオ族が日常的に実施する治病儀礼、葬送儀礼、年中行事に関する調査を実施し、ヤオ族の儀礼全体の把握に努めた。その結果規模の違う儀礼(度戒、還家愿、葬送)間の、骨格となる構造が明確となった。中国以外のタイ北部、ベトナム北部に居住するヤオ族の儀礼調査も実施し、同等儀礼における中国とタイの不易と変差の解明も進んだ。道教儀礼からの検討により授ろく制度の果たす作用等の面で同質性がある反面、穀霊信仰の存在や始祖神盤王との祭祀契約が儀礼に通底している等民族性も認められた。

成果2 儀礼文献に関しては実態の把握によって賞光書・伝度書・請聖書・意者書・歌堂書・超度書・曆書のジャンルに分類できることが判明し、他地域の異本との比較対照を進める条件が整った。中国国内(藍山県、江華県、資興市、大瑤山瑶族自治州、賀県、乳源県)を初め、タイ及びベトナム調査で閲覧撮影した文献及びヤオ族の文献を収蔵する諸機関(バイエルン州立図書館、ボードリアン図書館、米国議会図書館、南山大学人類学博物館)での閲覧を通じて得た多量の文献の対校作業を進めている。儀礼文献の内容は、漢族の生み出した道教文献の影響を強く受けながらもヤオ族独自の体系を作り上げており、単純に道教文献を基準にできない民間

宗教的な複雑な内容の文献を含んでおり、いわゆる法教文献の伝統と密接に関係していることが明確になった。神への上奏文の文書の解読も進め、上奏文作成法式についても実際的な理解に到達できた。異なる地域の関連する文字資料理解の前提となる、資料状況の特性に即した研究方法を確立できたと考えている。

成果3 養子の受け入れ実態や家先単等の分析から系譜的關係に基づく出自集団を形成せず家単位で分散移住してきたミエンの家を基軸とした社会文化的適応の一端が解明された。

成果4 ミエン語基礎語彙2000語の収録を行ない、経文読誦の音声解釈への道筋を付けた。

成果5 種々な儀礼で読誦される定型の経文は、七言上下句が対をなし四句をまとまりとし構成され、日常使用されるミエン語や漢語とは異なる音訓が付され、経文によって異なるリズムと旋律をそなえた曲節を付けて発声される。定型経文の内容は、ミエン・ヤオ族のアイデンティティーの根幹をなす神話や歴史叙事、儀礼の執行内容や祭司として守るべき教訓、口承の記録等多岐にわたるが、単なる道教からの借用ではないヤオ族独自の信仰知識や伝統的概念が凝縮され、対句や反復や多義の比喩表現が用いられる。儀礼の実践では経文を文面通り読誦するだけではなく、口承と書承部分を混在させたり、掛け合い問答形式で進める等極めて難解な法則が存在する。男性祭司と女性歌手とでは同時進行でも経文や歌唱法が異なる。今まで十分になされてこなかったこの定型経文の解読と儀礼における読誦歌唱システムの解析を進めるにあたり必要な基礎研究ができた。

成果6 中国・タイ・ベトナムで実施された儀礼において祭壇に掛けられる神画について詳細な読み取りを進めた上、儀礼においての使用の実践及び文献にある神画に描かれる神々に関する記述からの総合的な分析を行ない、神画のもつ意義について解明を進めた。

成果7 収集した文献、写真及び映像資料のデータ化を進め、詳細な儀礼程序と儀礼文献・文書を組み合わせる形で大量な儀礼知識の全容についてデータベース化及び電子媒体や出版の形で公開を図ることで、中国を初めとし、タイ・ベトナム・ラオス・米国など世界に分散したヤオ族にとって自民族の文化資源であることの認知を広め、次世代への継承に寄与することに繋がったと考える。継承の危機にある儀礼と儀礼文献・文書を収集記録保存することは、ヤオ族の社会にとどまらず人類文化の保存継承の観点からもその意義は大きいといえる。

成果8 2015年2月～3月にかけて神奈川大学プロジェクト研究所主催講座“アジアに生きる少数民族の文化を知る”をKUポर्टスクエアで開講し、広く一般に向け成果の公開

を図った。

成果9 2012年度～2014年度に17回国内で研究会を開催したほか、2012年8月中国湖南省長沙市で国際シンポジウム『第二回国際瑶族伝統文化研討会』を開き成果を公開するとともにヤオ族の儀礼研究を進める重要性について認知を広めた。

成果10 ヤオ族の儀礼に関連する文献は、日本では南山大学またドイツのバイエルン州立図書館、イギリスのオックスフォード大学ボードリアン図書館、オランダ国立民族学博物館、ドイツのハイデルベルク大学中国学研究所、オランダのライデン大学、ワシントンの米国議会図書館をはじめとする各国の研究施設にバラバラに保管されており、諸機関との連携を図り、データを公開することで国際的な研究者間での活用が可能になり学術的な研究交流が促進される。すでに南山大学、バイエルン州立大学図書館、ボードリアン図書館で研究交流が実現した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計44件)

廣田律子「湖南省藍山県過山系ヤオ族(ミエン)の祭祀儀礼にみる盤王の伝承とその歌唱」『歴史民俗史料学研究』第20号 査読なし 2015年 pp.103-146)

廣田律子「盤王愿儀礼程序(2011年還家愿儀礼程序)」『瑶族文化研究所通訊』第5号 査読なし 2015年 pp.15-51

廣田律子「湖南省藍山県ミエン・ヤオ族調査報告」『神奈川大学アジア・レビュー』Vol.2 査読なし 2015年 pp.82-96)

廣田律子「儀礼における歌書の読誦 湖南省藍山県ヤオ族還家愿儀礼に行なわれる歌問答」『國學院雑誌』第116巻第1号 査読なし 2015年 pp.225-254

浅野春二「台南道教の開光儀について」『國學院雑誌』第116巻第2号 査読あり 2015年 pp.1-17

浅野春二「招五穀兵について—中国湖南省瑶族(過山瑶)の還家愿儀礼から—」『瑶族文化研究所通訊』第5号 査読なし 2015年 pp.52-63

吉川雅之「ミエン語(勉語)藍山滙源方言調査報告」『神奈川大学アジア・レビュー』Vol.2 査読なし 2015年 pp.98-116

譚静「儀礼実践から見たミエン儀礼神画の使用」『瑶族文化研究所通訊』第5号 査読なし 2015年 pp.64-85

廣田律子「儀礼知識の伝承に関する研究—身体コミュニケーションによる伝承とテキストによる伝承から—」『国際常民文化研究叢書』7 2014年 pp.179-229

廣田律子「湖南省藍山県過山瑶的祭祀礼儀与盤王伝承」『地方文化研究』2014年第3号 2014年 pp.63-75

- 吉野晃「タイ北部、ユーミエン(ヤオ)の儀礼における女性と歌謡」国際常民文化研究叢書 第7巻『アジア祭祀芸能の比較研究』査読なし 2014年 pp.141-155
- 浅野春二「新虎召魂法の儀礼構成における発玉札と建陰陽二壇について—南宋期道教の黄ろく斎から」『國學院中國學會報』第60輯 査読あり 2014年 pp.44-63
- 廣田律子「ボードリアン図書館蔵ヤオ族テキスト盤王関連校訂用資料」『麒麟』第22号 神奈川大学経営学部17世紀文学研究会 査読なし 2013年 pp.58-68
- 廣田律子「構成要素から見るヤオ族の儀礼知識 湖南省藍山県過山系ヤオ族の度戒儀礼・還家願儀礼を事例として」『國學院中國學會報』第58輯 査読あり 2013年 pp.1-25
- 廣田律子「ヤオ族春節調査」『瑶族文化研究所通訊』第4号 査読なし 2013年 pp.133-136
- 廣田律子「祭祀儀礼と盤王伝承 儀礼の実施とテキスト」『瑶族文化研究所通訊』第4号 査読なし 2013年 pp.88-106
- 廣田律子「湖南省藍山県過山系ヤオ族の祭祀儀礼と盤王伝承」『東方宗教』第121号 査読あり 2013年 pp.1-23
- 廣田律子「祭祀儀礼と盤王伝承 儀礼の実施とテキスト」『瑶族文化研究所通訊』第4号 査読なし 2013年 pp.88-106
- 廣田律子「湖南省藍山県勉系瑶族道教儀式調査研究 以表演性項目為中心之考察」『地方道教儀式実地調査比較研究 国際学術検討会論文集』査読あり 2013年 pp.217-306
- 廣田律子「願掛け願ほどきの民俗 中国福建省漢族の元宵会と湖南省ヤオ族の還家願儀礼を事例として」『東アジア比較文化研究』12 査読なし 2013年 pp.56-68
- 21 吉野晃「ユーミエンにおける 家先 祭祀 タイと藍山県との 家先単 の比較」『瑶族文化研究所通訊』第4号 査読なし 2013年 pp.82-87
- 22 吉野晃「オックスフォード文献調査」『瑶族文化研究所通訊』第4号 査読なし 2013年 p.132
- 23 吉野晃「廟と女性シャマン タイ北部、ユーミエン(ヤオ)の新たな宗教現象に関する調査の中間報告」『東京学芸大学紀要 人文社会科学系』第64巻 査読なし 2013年 pp.115-123
- 24 丸山宏「湖南省藍山県勉系瑶族宗教儀式文字資料的研究価値 - 以度戒儀式文書為中心之探討」『地方道教儀式実地調査比較研究』国際学術検討会論文集』査読あり 2013年 pp.185-215
- 25 丸山宏「道教功德戲的唱道文化 以台南道教奈何橋全論所表現的生命觀為主」『2013 宗教生命關懷国際学術検討会手冊』査読なし 2013年 pp.227-246
- 26 丸山宏「第二回国際ヤオ族伝統文化研究会 資源と創意 総括報告」『瑶族文化研究所通訊』第4号 査読なし 2013年 pp.123-131
- 27 浅野春二「八門召魂壇に用いる鐵跡臺光寶章について 南宋期道教の神虎召魂法から」『國學院中國學會報』第59輯 査読あり 2013年 pp.42-59
- 28 浅野春二「八門召魂壇に用いる召魂幡について 南宋期道教の神虎召魂法から」『國學院中國學會報』第58輯 査読なし 2013年 pp.72-90
- 29 浅野春二「神虎召魂法における八門召魂壇 南宋期道教の黄ろく斎から」『儀礼文化学会紀要』第1号 査読なし 2013年 pp.133-162
- 30 廣田律子、趙金付「ヤオ族歌謡資源と創意 盤王歌を中心として」『第二回国際瑶族伝統文化研討会 資源と創意 會議論集』2012年 pp.251-278
- 31 浅野春二「五穀兵を招くことの意味 湖南省藍山県瑶族の還家願儀礼から」『第二回国際瑶族伝統文化研討会 資源と創意 會議論集』査読なし 2012年 pp.303-310
- 32 丸山宏「ヤオ族度戒儀礼の奏青詞に用いる文書 その校訂と書き下し」『第二回国際瑶族伝統文化研討会 資源と創意 會議論集』査読なし 2012年 pp.165-202
- 33 丸山宏「大英図書館所蔵福建漳州海澄県道教科儀手抄本(Or.12693)初探」『正一与地方道教儀式研討会 報告論文』査読なし 2012年 pp.1-35
- 34 吉野晃「ユーミエンにおける 家先 祭祀 タイと藍山県との 家先単 の比較」『第二回国際瑶族伝統文化研討会 資源と創意 會議論集』査読なし 2012年 pp.294-298
- 35 吉野晃「タイ北部、ユーミエン(ヤオ)の船送り」『国際シンポジウム報告書 “カラダ” が語る人類文化 形質から文化まで』査読なし 2012年 pp.141-147
- 36 張勁松「藍山県過山ヤオ族の信仰儀礼に見る巫道の構成及び価値」『第二回国際瑶族伝統文化研討会 資源と創意 會議論集』査読なし 2012年 pp.1-6
- 37 Lucia Obi「ヤオ族写本文献中の禹歩について」『第二回国際瑶族伝統文化研討会 資源と創意 會議論集』査読なし 2012年 pp.203-228
- 38 馮榮軍「過山ヤオ族における光崇拜と信仰について」『第二回国際瑶族伝統文化研討会 資源と創意 會議論集』2012年 pp.279-286
- 39 Terry F Kleeman「授ろく制度の深淵、発展と現代道教の意義について」『第二回国際瑶族伝統文化研討会 資源と創意 會議論集』2012年 pp.39-52
- 40 盤榮富「ヤオ歌の現代社会に於ける利用と創意について」『第二回国際瑶族伝統文化研討会 資源と創意 會議論集』2012年 pp.279-286

- 化研究会 資源与創意 會議論集』2012年 pp.287-292
- 41 趙書峰「ヤオ族盤王祭祀儀礼及びその音楽の比較研究 湖南藍山県と資興市ヤオ族を例として 會議論集」『第二回國際瑶族伝統文化研討会 資源与創意』2012年 pp.345-360
- 42 三村宜敬「藍山県ヤオ族の送船儀礼 度戒儀礼における送船と村落での送船」『第二回國際瑶族伝統文化研討会 資源与創意 會議論集』2012年 pp.377-390
- 43 譚静「神画の複製作業からヤオ族伝統文化の保存と創意を考える」『第二回國際瑶族伝統文化研討会 資源与創意 會議論集』2012年 pp.391-400

〔学会発表〕(計 47 件)

丸山宏「報告と翻訳実習 ヤオ族の大戒文と大齋秘語」テリー・クリーマン教授主催による NEH セミナー「道教の文献と歴史への入門」2014年7月31日(コロラド大学・アメリカ)

浅野春二「進表科儀に用いる符について 台南道教の祈安しゅうから」國學院大學中國學會第57回大会 2014年6月22日 國學院大學渋谷キャンパス(東京都)

廣田律子「ヤオ族の水にかかわる儀礼と水利用 中国湖南省藍山県ヤオ族村を事例として」2014年5月28日 アジアの水に関する総合的研究 神奈川大学アジア研究センター(神奈川県)

廣田律子「湖南省藍山県過山瑶の祭祀礼儀与盤王伝承」第1回東亞宗教文化國際學術研討会 2014年5月24日 上海華東師範大学(中国上海)

浅野春二「神虎法に見る召魂術の伝統について」道教文化研究会例会 2014年2月8日 國學院大學渋谷キャンパス(京都)

丸山宏「道教功德戲的唱道文化 以台南道教奈何橋全論所表現的生命觀為主」2013 宗教生命關懷國際學術研討会 2013年12月7日 正修科技大学通識教育中心(台湾・高雄市)

YOSHINO Akira 「From Patrilineal Joint Families towards Nuclear Families: The Change of Household Structure in the Iu Mien (Yao) Society in Northern Thailand.」(「父系合同家族から核家族へ タイ北部におけるユーミエン(ヤオ)の家族構造の変化」) International Conference: Thai Studies through the East Wind. (チエンマイ大学人文学部・法学部・政治学部及び日本タイ学会の共催) 2013年8月24日 フラマー・ホテル(タイ王国チエンマイ市)

吉野晃「廟の建設と女性祭祀者の出現 タイ北部、ユーミエン社会における新し

い宗教現象」日本タイ学会 2013 年度(第15回)研究大会 2013年7月7日 横浜市立大学(神奈川県)

浅野春二「八門召魂壇に用いる鐵跡臺寶光章と菊人について 南宋期道教の神虎召魂法から」國學院大學中國學會第56回大会 2013年6月30日 國學院大學渋谷キャンパス(東京都)

吉野晃「女性シャマンと歌 タイ北部、ユーミエン(ヤオ)社会における新たな宗教現象に関する中間報告」日本文化人類学会第47回研究大会 2013年6月8日 慶應義塾大学(東京都)

廣田律子「身体コミュニケーションによる伝承 祭祀儀礼の場から」國際人類学フォーラム 2013年5月17日 東京日仏会館(東京都)

廣田律子「湖南省藍山県過山系ヤオ族の祭祀儀礼と盤王伝承」『日本道教学会第63回大会』2012年11月10日 名古屋大学(愛知県)

廣田律子「儀礼の実践と「盤王歌」」『日本民俗学会第64回年会』2012年10月7日 東京学芸大学(東京都)

浅野春二「還家願儀礼における掛灯と招兵 中国湖南省過山系ヤオ族の事例から」『日本民俗学会第64回年会』2012年10月7日 東京学芸大学(東京都)

廣田律子「構成要素から見るヤオ族の儀礼知識 湖南省藍山県過山系ヤオ族の度戒儀礼・還家願儀礼を事例として」『國學院大學中國學會』2012年6月24日 國學院大學(東京都)

〔図書〕(計 7 件)

吉野晃「タイにおけるユーミエンの家族構成の社会史 合同家族から核家族へ」クリスチャン・ダニエルズ(編著)『東南アジア大陸部 山地民の歴史と文化』言叢社 2014年 pp.219-246

吉野晃「タイ北部、ユーミエンにおける儀礼文献の資源としての利用と操作」塚田誠之(編著)『中国の民族文化資源：南部地域の現在および分析』風響社 2014年 pp.67-95

廣田律子「祭祀儀礼に見る旅 中国湖南省藍山県ヤオ族の通過儀礼を事例として」大学教育出版編集部(編)『旅のはじまりと文化の生成』大学教育出版 2013年 pp.210-244

吉野晃「ユーミエンの 功德 の作り方 覚え書き 功德 概念をめぐる」兼重努・林行夫(編)『功德の觀念と積徳行の地域間比較研究』(CIAS Discussion Paper No.3) 京都大学地域研究統合情報センター 2013年 pp.102-111

吉野晃「祖先と共に タイ北部、ユーミエンのピャオ集団の核家族化過程に見られる「家」の構成原理」信田敏宏・小池誠(編)『生をつなぐ家 親族研究の新

たな地平 『風響社 2013年 pp.153-175
廣田律子(編)神奈川大学歴民調査報告第
14集『中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献
に関する報告』2012年 183p.

〔産業財産権〕
出願状況(計0件)

取得状況(計0件)

〔その他〕
ホームページ等
ヤオ族文化研究所ウェブサイト
<http://www.yaoken.org/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

廣田 律子 (HIROTA, Ritsuko)
神奈川大学・経営学部・教授
研究者番号: 70260990

(2) 研究分担者

吉野 晃 (YOSHINO, Akira)
東京学芸大学・教育学部・教授
研究者番号: 60230786

丸山 宏 (MARUYAMA, Hiroshi)
筑波大学・人文社会系・教授
研究者番号: 00229626

松本 浩一 (MATSUMOTO, Koichi)
筑波大学・図書館情報メディア系・教授
研究者番号: 00165888

森 由利亜 (MORI, Yuria)
早稲田大学・文学学術院・教授
研究者番号: 30247259

浅野 春二 (ASANO, Haruji)
國學院大學・文学部・教授
研究者番号: 30289714

(3) 連携研究者

泉水 英計 (SENSUI, Hidekazu)
神奈川大学・経営学部・教授
研究者番号: 20409973

蔡 文高 (CAI, Wengao)
神奈川大学・経営学部・非常勤講師
研究者番号: 40412382

佐野 賢治 (SANO, Kenji)
神奈川大学・経済学部・教授
研究者番号: 90131127

高城 玲 (TAKAGI, Ryo)
神奈川大学・経営学部・准教授
研究者番号: 60414041

(4) 研究協力者

張 勁松 (ZHANG, Jinsong)
湖南省民間文芸家協会・主席

Lucia Obi (LUCIA, Obi)
バイエルン州立図書館・館員

趙 金付 (ZHAO, Jinfu)
中国湖南省藍山県わい源郷湘蘭村委會・祭
司

馮 榮軍 (FENG, Rongjun)
中国湖南省藍山県わい源小学校・教員 /
祭司

盤 榮富 (PAN, Longfu)
藍山県瑶族文化研究学会・会長

葉 明生 (YE, Mingsheng)
福建省芸術研究院・教授

Terry F Kleeman (TERRY, F Kleeman)
コロラド大学・准教授

趙 書峰 (ZHAO, Shufeng)
北京信息職業技術學院・講師

吉川 雅之 (YOSHIKAWA, Masayuki)
東京大学大学院・総合文化研究科・准教授

内海 涼子 (UTSUMI, Ryoko)
大阪成蹊大学・芸術学部・教授

増野 高司 (MASUNO, Takashi)
総合研究大学院大学・先導科学研究科・客
員研究員

三村 宜敬 (MIMURA, Nobutaka)
神奈川大学・理学部・非常勤講師

濱田 武志 (HAMADA, Takeshi)
東京大学大学院・人文社会系研究科・院
生

譚 静 (TAN, Jing)
神奈川大学大学院・歴史民俗資料学研究
科・院生